

『VIEW next』高校版・2024年度「発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践」授業デザインシート

【教科・科目】	日本史探究
【分野・単元】	律令国家への道(大化の改新～持統朝)
【設定時数】	3
【単元の目標】	律令国家に向けた準備 ・ どのような国を目指したのか 理解すること 人物・歴史事象について 関心をもつこと

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	教科書を中心として、基本的な内容を把握する。	読解力 情報活用能力(低次元)	知識・技能 学びに向かう力	【めあて】 律令国家に向けた準備 ・ どのような国を目指したのか 理解する。 人物・歴史事象について 関心をもつ。	自ら、教科書や電子資料などを活用しながら、疑問の解決に取り組む。メモを取る。要約する。独自の情報整理(メモの取り方)ができるように助言する。	机間巡視をしながら、生徒の学習の様子を観察。教科書の参照状況や、インターネット上の情報の参照状況を見ながら、助言を加える。		内容把握(メモWS)の具体的な程度と、整理状況。
2	学習した内容周辺から、課題(問い)を設定し、課題の解決(調査・分析・表現)に取り組む。	課題設定する力	思考力 学びに向かう力	【活動】 ①乙巳の変から持統天皇の政治 について概要を理解する(教科書を中心にしながら、内容を整理する・メモをとる) ②関心をもった人物・事項について 問いを設定して 解決する。 ※途中経過については、友達に質問を加える。 ③自分の設定した 問いについて わかりやすく 説明・まとめる。 ※まとめは Canva で共同編集(スライド1枚分)		他者との協働を認める。相互参照・途中参照 の効果を助言する。進捗確認シートを作成し、他者のテーマや理解度を参照できるようにする。	総合的な探究の時間等で獲得した、問いづくりの手法に触れて、SWI1H的に問いを意識させる。	生徒の取り組みを、非同期的に参照し、問いの制度や、説明・分析の内容、情報の正確さによって評価。生徒が探究的な問い・本質的な問いの設定ができていないか。(単なる調べ学習となっていないか)
3	自己の課題について、整理・分析をおこなう。スライドを作成して(表現)、他者に共有する。	情報活用能力(中次元)	思考力・表現力 学びに向かう力		他者を意識した独自の表現と成るように、助言を加える。 (良い状況にあるものには積極的に声をかけ、情報の全体化を心がける)	スライド作成において、他者の作品を参照したりできるようにすること。 Chromebookの操作方法についてもお互いに教え合うように助言する。		問いにもとづいた課題設定ができていないか。 課題説明に必要な事実が具体的に説明できているか。 他者に伝えることを意識した表現方法が取れているか。